

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	教授	氏名	村田 節子
----	-------------	----	----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

平成 21 年より当大学に就任。主な研究分野はがん患者の身体的ケアや社会復帰に関する研究で、特にがん患者のスキンケア、排泄と排泄環境に関する研究を行っている。又、ケア技術選択の根拠となる看護アセスメント過程に関心を持ち、看護過程・看護診断に関する研究を行っている。

ケアは、単に身体機能の回復を助けるだけでなく、患者という立場になった人々の生活の再構築を支援していく役割がある。そのためには、国や地域の慣習や伝統を考慮する必要がある。今後は「排泄環境」を通して、アジアの看護についても検討していきたい。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

<論文>

- 資料：松井聡子，政時和美，杉野浩幸，村田節子，中井裕子「視聴覚教材が成人看護技術演習に及ぼした効果～eラーニングシステムを使用して～」福岡県立大学紀要（2015）
- 政時和美，松井聡子，笹野莉奈，村田節子，中井裕子「A 地区における AED の配置に関する調査研究」福岡県立大学紀要（2015）

<著書>

村田節子：分担部分単独執筆（共著者：加來 恒壽、渡辺 美子、他）各論 1.副作用IV,排便障害（ストーマ・ケア）、婦人科がん患者の臨床と看護,Pp104-110,医学出版,2013

### ②その他最近の業績

<学会発表>

- 村田節子、岩橋宗哉、岩崎玲奈「患者に寄り添うコミュニケーション技術を高めるプログラム 第 2 報 -ロールプレイ演習とリフレクションによる評価-」第 30 回日本がん看護学会(2016. 2.20)
- 西坂恵子、村田節子、宮園真美「自宅で生活を送るがんサバイバーが感じる情緒的支援と対処行動・心理的適応と関連」第 30 回日本がん看護学会(2016. 2.20)
- 宮園真美、村田節子、政時和美、植木昭代「地域でがんについて語り合う「キャンサー・ナーシング・カフェの取り組み」～医療スタッフの意識調査～」第 17 回日本看護医療学会(2015)
- 村田節子、宮園真美、政時和美「地域で語り合うがんとの向き合い方～キャンサー・ナーシング・カフェの取り組み～」第 17 回日本看護医療学会(2015)
- 西坂恵子、村田節子、宮園真美「がんサバイバーの情緒的支援と対処行動、心理的適応に関する文献的考察」第 41 回日本看護研究学会(2015)
- 廣兼利来、野口未生、村田節子、中井裕子「日本人看護師と外国人患者の間に生じる課題に関する文献検討」第 41 回日本看護研究学会(2015)
- 野口未生、廣兼利来、村田節子、中井裕子「化学療法を受ける高齢者の苦痛に関する文献検討」第 41 回日本看護研究学会(2015)
- 松枝美智子、村田節子、江上文子、松井聡子、永嶋由理子「A 県の医療施設等の看護管理者が高度実践看護師（Advanced Practice Nurse）に提供したいと考えている支援」第 41 回日本看護研究学会(2015)
- 村田節子、岩橋宗哉「患者に寄り添うコミュニケーション技術を高めるプログラム - ロールプレイ演習のリフレクションによる評価 - 」第 29 回日本がん看護学会（2015）
- 岩崎玲奈、村田節子、櫛直美、小出昭太郎「治癒が困難になったがん患者の療養上の意思決定支援における家族支援の現状と関連要因の検討」第 29 回日本がん看護学会（2015）
- 岩崎玲奈、村田節子、櫛直美、小出昭太郎「治癒が困難になったがん患者の療養上の意思決定支援の現状と関連要因の検討」第 29 回日本がん看護学会（2015）

- ・ Sumiko Watanabe<sup>1</sup>, Tsunehisa Kaku<sup>2</sup>, Maki Kusaba<sup>3</sup>, Natsuki Eguchi<sup>3</sup>, Kazunori Nishimura<sup>3</sup>, Setsuko Murata<sup>4</sup>, Setsuo Sugishima<sup>5</sup>, Tsuyoshi Iwasaka<sup>6</sup> 「Formation Mechanism of Binucleated HeLa Cells」 38<sup>th</sup> European Congress of Cytology (2014)
- ・ 政時和美,松井聡子, 村田節子, 中井裕子 「A 地区における AED 設置調査」,第 40 回日本看護研究学会 (2014)
- ・ 政時和美,松井聡子, 村田節子, 中井裕子 「過疎地域における AED 設置の問題点」,第 34 回日本看護科学学会 (2014)
- ・ 岩崎玲奈, 村田節子, 櫛直美, 新垣亮太 「治療が困難になったがん患者への療養上の意思決定に必要な看護支援」 第 33 回日本看護科学学会 (2013)
- ・ Sumiko Watanabe, Tsunehisa Kaku, Masafumi Ohki, Sadafumi Tamiya, Setsuo Sugishima, Setsuko Murata, Yoshihiro Ohishi, Masatoshi Yokoyama, Yoshiko Kashimura, Masamichi Kashimura, Tsuyoshi Iwasaka 「Correlation between nuclear chromatin pattern and cell cycle」 International congress of Cytology 2013 (web)
- ・ 村田節子, 長家 智子 (2013) 「本邦における看護過程の教授方法の工夫に関する文献検討」、日本看護学会誌 VOL18, No2, pp130-131, 2013

### ③過去の主要業績

- ・ 村田節子 「ターミナル期における自己尊重の障害への介入について—子宮頸癌Ⅲb 期再発の 47 歳の症例を通して—」、日本看護診断学会学会誌 vol 1.No1、p 66-76、1996.
- ・ 村田節子 「ネパールにおける看護教育とケアシステムの現状と課題」、九州大学医療技術短期大学部紀要第 28 号 p 45-62、2001.
- ・ 村田節子, 熊谷秋三, 平田伸子, 平野祐子 「トイレ弱者の立場からみた公的空間の排泄環境整備と基準化に関する研究」、社会福祉事業助成金「第 34 回三菱財団 事業報告書」三菱財団発行、2002.

## 5. 所属学会

日本看護診断学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 (評議委員)、日本看護科学学会、日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本褥瘡学会、日本ネパール協会、国際看護研究会

## 6. 担当授業科目

<学部>

成人看護学概論・2 単位・2 年・前期、成人急性期看護論・2 単位・2 年・後期、成人看護実践論Ⅳ・1 単位・3 年・通年、成人看護実習・4 単位・3 年・通年、統合実習・2 単位・4 年・通年、専門看護学ゼミ・2 単位・4 年・前期、卒業研究・2 単位・4 年・後期。

<大学院>

成人看護学特論・1 年・通年、成人看護学演習・1 年・通年、がん看護学特論Ⅰ・2 単位・1 年・前期、がん看護学特論Ⅱ・2 単位・1 年・後期、臨床心理学特論・1 年・後期、がん看護学実習Ⅰ・4 単位・2 年・前期、がん看護学実習Ⅱ・2 単位・2 年・前期、課題研究・4 単位・1-2 年・通年、臨床看護学特別研究・8 単位・2 年・通年。

## 7. 社会貢献

- ・九州がんプロフェッショナル養成協議会 福岡県立大学代表コーディネーター
- ・第 2 回キャンサー・ナーシング・カフェ企画、開催 (2016.3.5)
- ・第 22 回看護診断学会 企画委員会実行委員長 (H26~H28)
- ・福岡県立大学がん看護勉強会 (1 回/2 か月 福岡県立大学内)
- ・川崎町立病院評価委員会委員
- ・田川市政治倫理審査委員

## 8. 学外講義・講演

- ・ 村田節子 (2016.1.31) 九州放射線治療システム研究会 教育講演「がん患者の身体的ケアと社会復帰支援」
- ・ 村田節子 (2015.8.8、8.9) 熊本医療センター 第4回ナースのためのエンド・オブ・ライフ・ケアセミナー (ELNEC-J コアカリキュラム)

## 9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員